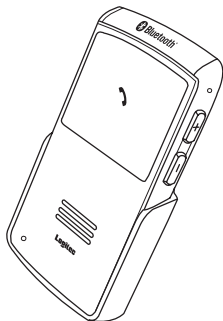
Logitec

LBT-HF110C2シリーズ

# Bluetooth ハンズフリーカーキット
# LBT-HF110C2 ユーザーズマニュアル

| デバイス名 | LBT-HF110C2 |
|---|---|
| パスキー | 0000 |

- **通話を開始する前の準備操作は、車を停めた状態で行ってください。運転中の操作は危険なので行わないでください。**
- **自動車運転時に本製品を使用して通話を行う場合は、自動車を安全な場所に停車させてから行っていただきますようお願いいたします。**

## ご挨拶

このたびは弊社製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
ハンズフリーカーキットを有効にご活用いただくため、および破損または誤使用を防ぐため、ご使用の前に本ユーザーズマニュアルの内容をすべてよくお読みください。
本マニュアルの説明文の規定情報における誤字や、間違いによる本マニュアルの修正または変更は、ロジテック株式会社のみが行うものとします。

## ご注意

1 本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。
2 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。
3 本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、2項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
4 本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。
5 本製品の仕様、デザインおよび本書の内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

6 本製品を使用して保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

7 弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

8 本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

9 本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

**商標に関する注意**

Bluetooth® は Bluetooth SIG の商標です。

その他本書に記載されている機器の名称などは各社の商標または登録商標です。

# 目次

# 安全上の注意

## 危険

**走行中に設定操作を行わないでください。**

運転中の操作は大変危険ですので、絶対に行わないでください。
本製品の操作は、必ず車が停止した状態で、周囲の安全を確認してから行ってください。

## 警告

**万一、異常が発生したときは ...**

本製品から異臭や煙が出たときは、ただちに使用を中止し、電源を切ってください。また、充電中の場合は、電源プラグをシガーソケットから抜いてください。その後は本製品をご使用にならず、販売店にご相談ください。

**弊社指定の物以外を使用してカーキットの充電を行わないでください。**

カーキットは内部電源にリチウムポリマー電池を使用しています。この電池は扱いを誤ると、発火の危険性があります。
充電は本書で指定する方法で行ってください。注意事項をお守りにならない場合、バッテリーの寿命が著しく短くなる場合があります。

**高温のまま放置しないでください。**

本製品の仕様の範囲を超える環境でのご使用・保管は避けてください。仕様の詳細については、P36 を参照してください。

**カーキットの充電が終わったら、必ず充電用ケーブルを取り外してください。**

また、必要な充電時間を終えても充電が完了しない場合も、いったん充電を終えて充電に使用していたケーブル類をすべて取り外してください。所定の充電時間を超えて充電を行った場合、内部電池が発熱、発火、破裂する危険性があります。また、電池寿命に影響を与える場合があります。

**音量の設定には十分気をつけてください。**

カーキットの音量は最小から徐々に音を上げ、適切な音量に調整してください。

**分解しないでください。**

本書の指示に従って行う作業を除いては、自分で修理や改造、分解をしないでください。感電、火災、やけどの原因となります。
※特に電源内部は高電圧が多数あり、万一、触れると危険です。

**水気の多い場所での使用、保管は行わないでください。**

本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因となります。また、充電時に濡れた手でアダプタを触ると、感電の原因となりますのでおやめください。

**小さなお子様の手の届くところに保管しないでください。**

誤飲など、思わぬ事故を招く場合があります。

**病院内や航空機の中などでは使用しないでください。**

高度な安全を要求される場所では絶対に使用しないでください。特定医療機器や航空機の計器類などの誤動作の原因となります。また、まれに自動ドアや火災報知器などの自動制御装置に電波が干渉し、誤動作を招く場合があります。

**充電用ケーブルの接続端子や本製品の電源コネクタ等の金属部分に触れないでください。**

静電気や汚れなどにより、故障、感電の原因となります。

注意

**カーキットの充電時は、電源コードを必ず伸ばした状態で使用してください。**

束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。

**衝撃や振動のある場所では使用しないでください。**

本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用、保管は避けてください。

**周囲の機器と電波干渉が起こる場合は使用しないでください。**

本製品は 2.4GHz 帯の ISM バンドをワイヤレス転送に使用しています。この周波数帯では無線免許を必要としない機器が一定の条件下でさまざまな形で使用されています。
そのため、使用する場所より、まれに周囲の機器との間で電波干渉が起こる場合があります。そのような場合は、本製品の使用を中止してください。

**心臓ペースメーカーなどをお使いの場合は使用しないでください。**

本製品を心臓ペースメーカーと併用できるかどうかについては、ペースメーカーの製造元やかかりつけの医師に相談の上、安全が確認された場合のみ使用してください。

**カーキットの充電中は本製品および電源アダプタの周りに物を置かないでください。**

発熱、発火、火災、やけどの原因となります。

**ご使用にならないときは電源を OFF にしてください。**

本製品は待ち受け中も電力を消費します。長期間電源が ON のまま放置しておくと、実際の使用時に電池切れを起こす場合があります。

**ご使用の際は接続機器の取扱説明書の指示に従ってください。**

本製品は、パソコンや携帯電話などと無線通信による使用が可能ですが、接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項に従ってください。

**定期的に充電を行ってください。**

カーキットは長期間使用しない場合でも、1 か月に 1 度を目安に充電を行ってください。

**ラジオやテレビの近くで使用しないでください。**

ラジオやテレビ等の近くで使用すると、ノイズを与えることがあります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があるとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。

| | |
|---|---|
|  | **日本国以外では使用しないでください。**<br>この装置は日本国内専用です。他国には独自の安全規格が定められており、この装置が規格に適合することは保証できません。また、海外からのお問い合わせに関しても一切応じかねますのでご注意ください。 |
|  | **本製品を廃棄する場合**<br>カーキットは内部電池にリチウムポリマー電池を使用しています。リチウムポリマー電池はリサイクル可能な資源です。<br>本製品を廃棄する場合は、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。<br>お問合せ先については、本書巻末をご参照ください。 |
|  | **ていねいに取り扱ってください。**<br>本製品は、傷をつけにくいように表面処理を施しておりますが、お取り扱い方法や使用される環境によっては擦り傷がつく可能性があります。お取り扱いには十分ご注意ください。 |

## 電波に関する注意事項

本製品は 2.4GHz 帯の無線電波を使用しています。

本製品が通信時に使用する 2.4GHz 帯の電波は以下の機器や無線局が使用しています。

・産業、科学、医療用機器

・電子レンジなどの加熱装置

・工場の製造ライン等で使用される

移動体識別用の構内無線局（免許を要するもの）

特定省電力無線局（免許を要しないもの）

そのため、以下の注意事項をお守りの上ご使用ください。

- 心臓ペースメーカを使用している人の近くや、医療用の機器の近くでは絶対に使用しないでください。電波干渉を及ぼし生命に危険を与える可能性があります。
- 電子レンジなどの加熱機器のそばでは使用しないでください。電波干渉が発生します。
- 本製品をご使用の前に本製品の周辺で移動体識別用の構内無線局または特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。本製品とそれらの無線局に電波干渉が生じた場合は、弊社テクニカルサポートにご連絡いただき、混信回避のための処置等（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 電波干渉が起こると、通信ができなくなったり、正常に相手の声が聞こえない、自分の声が伝わらないなどの現象が起こる場合があります。そのような場合は直ちに本製品の使用をおやめください。

その他、本製品から移動体識別用の特定省電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合等、問題が発生した場合は弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。（弊社テクニカルサポートの連絡先については、本書巻末をご参照ください）

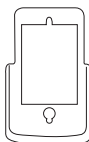
| | |
|---|---|
| 使用周波数帯域 | ：2.4GHz |
| 変調方式 | ：周波数拡散方式　FHSS（Frequency Hopping Spread Spectrum） |
| 想定干渉距離 | ：約 10m（障害物のない場合） |
| 周波数変更の可否 | ：全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定省電力無線局」帯域を回避可能 |

# 1 お使いになる前に

本製品は、薄型でファッショナブルなデザインの太陽電池式 Bluetooth ハンズフリーカーキットです。非常にクリアな音質で通話をお楽しみいただけます。また、シンプルでユーザフレンドリーなインタフェースによって、とても使いやすく設計されています。

## 1-1 同梱品の確認

本製品には、以下のものが含まれています。不足している場合には、販売店にご連絡ください。

ハンズフリー
カーキット本体

専用ホルダー

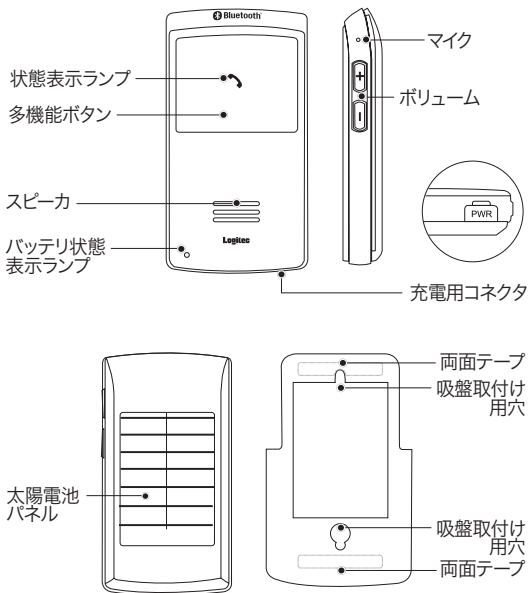
ユーザーズ
マニュアル

充電用シガー
チャージャー

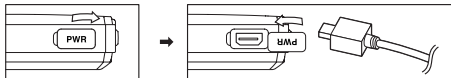
吸盤
（電波の届きやすい平らな場所に設置するときに、ご使用ください。）

両面テープ
（車内に設置するときに、ご使用ください。）

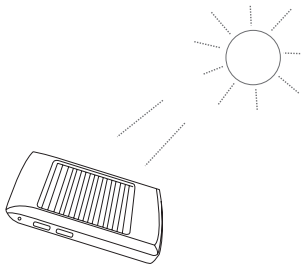
# 1-2 各部の名称

Bluetooth
状態表示ランプ
多機能ボタン
スピーカ
バッテリ状態
表示ランプ
Logitec
マイク
ボリューム
PWR
充電用コネクタ
両面テープ
吸盤取付け
用穴
太陽電池
パネル
吸盤取付け
用穴
両面テープ

# 1-3 充電方法

**1** 充電用シガーチャージャーを使用するには

- 本体の充電用コネクタの蓋を開け、状態表示ランプが赤色に点灯するまで充電シガーチャージャーのコネクタを挿入します。

- バッテリ状態表示ランプが消灯するまで充電してください。カーキットは、満充電になるまで約 2 時間かかります。

**2** 太陽電池を使用する

- カーキットの背面を太陽の方向に向けます。

- カーキットが3時間、十分な日光に当たると、最大30分通話することが可能です。太陽光充電を利用すると、電源アダプタを使って充電しなくても、動作時間（通話と待機）を連続的に延長することが可能になります。

**警告**

カーキットを充電する場合には、付属の充電器以外は使用しないでください。他の充電器を使用すると、本製品が損傷することがあります。

# 1-4 バッテリ低下

- 満充電状態の 10%になると、状態表示ランプが青色に点滅し、バッテリ状態表示ランプが赤色に点滅し、断続的にビープ音が鳴ります。このように、バッテリ低下状態になると、バッテリ状態表示ランプと状態表示ランプが同時に動作します。
- 上記の現象が起きたら、すぐに充電してください。
- 本製品は、充電されていないと電源がオフになります。

## 1-5 バッテリ状態

（＋）と（－）を同時に押してすぐに離すと、ビープ音と赤色の点滅の回数でバッテリ状態を確認することができます。

| ビープ音と赤色の点滅回数 | 4 回 | 3 回 | 2 回 | 1 回 |
|---|---|---|---|---|
| 通話時間 | 7 時間以上 | 5 時間以上 | 3 時間以上 | 3 時間以下 |

- 通話時間は、使用状況（電波状態、温度）により異なります。

# 2 ご使用方法

## 2-1 電源オン

**1** を 2 秒間押します。

**2** 起動音が鳴り、状態表示ランプが 5 回、青色に短い周期で点滅します。

## 2-2 電源オフ

**1** を 5 秒間押し続けます。

**2** 停止音が鳴り、状態表示ランプが 5 回、青色に短い周期で点滅します。

## 2-3 ペアリングについて

本製品を携帯電話とともに初めて使用するには、事前にご使用の Bluetooth 携帯電話とペアリングをする必要があります（Bluetooth 携帯電話の詳細な設定の方法とペアリングの方法については、ご使用の Bluetooth 携帯電話のユーザーズガイドをご覧ください）。

1 カーキット電源を切って、[📞]を 5 秒間押し続けます。
2 起動音の後に短いビープ音が 2 回鳴り、状態表示ランプが青色に点灯します。
3 ご使用の携帯電話の Bluetooth メニューで、ハンズフリーオプションを検索してください。ご使用の携帯電話にハンズフリーオプションがない場合は、ヘッドフォン、オーディオデバイスといったオプションを検索する必要があります（これらのオプションは、ご使用の携帯電話の機種によって異なります）。Bluetooth の様々な機能を使用できるので、ハンズフリープロファイルでのペアリングを推奨します。
4 検索されたデバイスのリストから「LBT-HF110C2」を選びます。
5 パスキー入力のダイアログが表示されたら、「0000」（半角数字のゼロ 4 個）を入力します。
6 ペアリングが完了すると、ビープ音が鳴ります。
7 ご使用の携帯電話とカーキットとのペアリングが完了したら、カーキットと携帯電話を使用するたびに上記の手順を繰り返す必要はありません。

「ペアリングモード」の状態で、携帯電話とペアリングせずに 3 分間以上経過すると、カーキットは自動的に電源が切れます。この場合は、ペアリング操作をやり直す必要があります（上記の手順を参照してください）。携帯電話の機種によって、ペアリング後の接続が自動的に行われる機能を持ったものもあります。

# 2-4 接続について

携帯電話とのペアリング完了後（または接続が切れた後）にカーキットを使用するには、ペアリングを行ったその携帯電話に接続する必要があります。接続方法の詳細については、ご使用の Bluetooth 携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

## 自動再接続機能について

**1** 接続中にカーキットの電源が切れたら

カーキットの電源をオンにすると、ペアリング操作を行わなくても自動的に再接続されます（直前に接続していた携帯電話は、カーキットから 10m 以内の範囲になければなりません）。

**2** 圏外について

カーキットは、3 分以内に携帯電話から 10m の範囲内に戻されると、自動的に再接続されます。すぐに再接続するには、 を 1 回、短く押します。

**ご注意**

圏外（10m 以上）の場合、カーキットと携帯電話の接続は切断されます。

カーキットと携帯電話の接続が切れて 3 分以上経過した場合、自動再接続には最長 10 分が必要です。

携帯電話の機種によっては、自動再接続機能が機能しないことがあります。その場合は、を 1 回、短く押して、手動で再接続してください。

# 2-5 電話に出るには

着信があると、カーキットと携帯電話は同時に着信音が鳴ります。を短く押して電話に出ることができます（携帯電話で電話に出ることもできます）。

**ご注意**

携帯電話で設定している着メロなどの着信音は鳴りません。電子音が鳴ります。

## 着信音のミュートについて

着信中に着信音をミュートするには、ボリュームボタン（ー）を 1 秒間押します（この機能を使うと、本製品から着信音が鳴らなくなります）。ミュートを解除するには、再度、ボリュームボタン（ー）を 1 秒間押します。

**ご注意**

このミュート機能は一時的なものです。次回の着信時には、本製品から着信音が鳴ります。

## 着信拒否について＊

着信拒否機能を有効にするには、着信中に ［📞］ を 1 秒間押します。

# 2-6 電話をかけるには

## 音声ダイアルについて

を 1 回押して離します。音声機能有効音が聞こえたら、音声ダイアルリストに登録した名前を発音します。

**ご注意**

この機能は、ご使用の携帯電話が音声ダイアルに対応し、カーキットがハンズフリーデバイスとしてペアリングされている場合にのみ使用できます。

ご使用の携帯電話が音声ダイアルに対応していない場合、直近番号リダイアル機能が有効になります。携帯電話の機種の機能の違いによって、どの動作も行わない場合があります。

## 直近番号リダイアル機能について*

を 1 秒間押すと、直近番号リダイアル機能が有効になります。携帯電話の機種によって、直近にかけた番号が表示されます。もう一度 を 1 秒間押すと、直近の番号に電話をかけることができます。

# 2-7 電話を切るには

電話を切るには、[電話ボタン] を短く押します。

# 2-8 音量調整について

スピーカの音量を調整するには、カーキット本体の横にあるボリュームボタン（＋）または（－）を押します。8 段階の音量調整ができます。

# 2-9 通話中に使用可能な機能について

## 転送するには＊

通話中に携帯電話からカーキットに転送するには、[電話ボタン] を短く押します（カーキットと携帯電話は、事前に接続されている必要があります）。カーキットから携帯電話に転送するには、ボリュームボタン（＋）を1 秒間押します。

## 保留するには＊

通話中の電話を切らずに、次に着信した電話に出るには、 を 1 秒間押します。最初に通話していた電話に戻るには、もう一度 を 1 秒間押します。

**ご注意**

保留中は、通話相手には「ビービー（2 回のビープ音）繰り返し」が流れます。本製品は「ビビビビ（断続的ビープ音）」が鳴ります。

## マイクのミュートについて

マイクのミュート機能を有効にするには、ボリュームボタン（ー）を 1 秒間押します。通話中、相手に声が聞こえなくなります。ミュートが有効な間、ビープ音が断続的に鳴ります。ミュートを解除するには、もう一度、ボリュームボタン（ー）を 1 秒間押します。

ご注意

ミュート中、通話相手に保留音などは鳴らず、無音状態になります。

参考

「*」マークは、ハンズフリープロファイルでのみ利用可能な機能であることを示しています。また接続した携帯電話がこの機能に対応している必要があります。これらの機能に関する詳細は、ご使用のBluetooth 携帯電話のユーザーズマニュアルをご覧ください。

# 2-10 操作ボタン機能の概要

| 機能 | カーキットの状態 | 操作 |
|---|---|---|
| 電源オン | 電源切断状態 | を 2 秒間押す |
| 電源オフ | 電源投入状態 | を 5 秒間押す |
| スピーカー音量大きく | 通話中 | ボリュームボタン ＋ を短く押す |
| スピーカー音量小さく | 通話中 | ボリュームボタン － を短く押す |
| 転送 | 通話中 | ・携帯電話からカーキットへ：<br>を短く押す<br>・カーキットから携帯電話へ：<br>ボリュームボタン ＋ を 1 秒間押す |
| 着信応答 | 着信中 | を短く押す |
| 通話終了 | 通話中 | を短く押す |
| 保留 | 通話中 | を約 1 秒間押す |
| 直近番号リダイアル | 待機中 | を約 1 秒間押す |
| 音声ダイアル | 待機中 | を短く押す |

| 着信拒否 | 着信中 | を約 1 秒間押す |
|---|---|---|
| ペアリング | 電源切断状態 | を 5 秒間押す |
| 着信音ミュート | 着信中 | ボリュームボタン（ − ）を約 1 秒間押す |
| 着信音ミュート解除 | 着信中 | ボリュームボタン（ − ）を約 1 秒間押す |
| マイクミュート | 通話中 | ボリュームボタン（ − ）を約 1 秒間押す |
| マイクミュート解除 | 通話中 | ボリュームボタン（ − ）を約 1 秒間押す |
| バッテリ状態 | 電源投入状態 / 待機中 | （ + ）と（ − ）を同時に押しすぐに離す |

# 2-11 ランプ表示と信号音

| 状態 | 信号音 | ランプの状態 |
|---|---|---|
| 電源オン | 起動音 | 状態表示ランプが 5 回青色に短く点滅 |
| 電源オフ | 停止音 | 状態表示ランプが 5 回青色に短く点滅 |
| ペアリング中 | 2 回ビープ音 | 状態表示ランプが青色に点灯 |
| カーキットと携帯電話が接続されていない | ビープ音なし | 状態表示ランプが 3 秒毎に青色に点滅 |
| カーキットと携帯電話が接続されている | 1 回ビープ音 | 状態表示ランプが 5 秒毎に青色に点滅 |
| 意図しない切断（再接続されるまでの間） | ビープ音なし | 状態表示ランプとバッテリ状態表示ランプが 3 秒毎に同時に点滅 |
| 着信時にミュート機能を有効にした時 | ビープ音なし | 状態表示ランプが 0.5 秒毎に青色に点滅 |
| 通話中にミュート機能を有効にした時 | 断続的ビープ音 | 状態表示ランプが 0.5 秒毎に青色に点滅 |
| 車載用充電器で充電中 | ビープ音なし | バッテリ状態表示ランプが赤色に点灯 |
| 充電完了 | ビープ音なし | バッテリ状態表示ランプが消灯 |
| バッテリ残量が少ない | 断続的ビープ音 | 状態表示ランプは青色に、バッテリ状態表示ランプは赤色に、同時点滅 |

# 3 補足

## 3-1 困ったときは

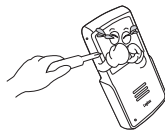
ハンズフリーカーキットが正常に動作しない場合は、下記の表に記載された解決方法に従ってください。もし解決方法によっても問題が解決されない場合は、弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

| 状態 | チェック | 解決するには |
|---|---|---|
| カーキットの電源が入らない | カーキットのバッテリが充電されているかチェック | バッテリを充電してください |
| カーキットを使用して通話ができない | ご使用の携帯電話が「ヘッドフォン」プロファイルと「ハンズフリー」プロファイルに対応しているかチェック | カーキットを使用するには、ご使用の携帯電話が「ヘッドフォン」および / または「ハンズフリー」プロファイルに対応している必要があります。ご使用の携帯電話にハンズフリーオプションがない場合は、ヘッドフォン、オーディオデバイスといったオプションを検索する必要があります（これらのオプションは、ご使用の携帯電話の機種によって異なります）。 |
| | バッテリが完全に充電されているかチェック | バッテリ残量が少ない場合は、充電してください |

| カーキットとBluetooth携帯電話をペアリングできない | カーキットの電源が入っているかチェック | [電話ボタン]を2秒間押してカーキットの電源を入れてください |
|---|---|---|
| | カーキットがペアリングモードになっているかチェック | 電源を切った状態で、少なくとも5秒間（点滅するまで）[電話ボタン]を押し続け、カーキットをペアリングモードにしてください |
| 音量が極端に小さい、または大きい | スピーカの音量をチェック | ボリュームボタン（＋）または（－）を押して音量を調節してください |

## 3-2 ご注意

1. 本体を高いところから落とさないでください。

2. 本体を改造したり、修理したり、分解したりしないでください。

3. 清掃目的で本体に水、アルコール、ベンジン等を直接つけたりしないでください。

4. 本体に引火性の物質がかからないようにしてください。

5. 本体を可燃物に近づけないでください。

6. 湿気のある場所やホコリの多い場所、高温の場所に置かないでください。

7. 本体に重いものを載せないでください。

- 本製品の改造を行うと電波法違法になる恐れがありますので、絶対に改造・分解を行わないでください。
- 絶対に分解は行わないでください。バッテリの爆発など重大な事象を引き起こす場合があります。

## 3-4 その他の情報

- 無線通信の適用範囲は最大 10 m ですが、障害物等により条件は異なります。
- カーキットは Bluetooth ヘッドフォンまたはハンズフリープロファイル対応の携帯電話のみに接続することが可能です（携帯電話の機種によっては、オーディオデバイス等、異なったオプションとして表示されることがあります）。本製品は、家庭用標準コードレス電話とは互換性がありません。
- カーキットは、ISM 帯（2.402 GHz 〜 2.480 GHz）で動作します。そのため同一周波数帯で動作する無線 LAN（802.11b/g/n）やマイクロ波デバイス、医療機器などの影響を受ける可能性があります。このため、正しく動作させるためには、これらのデバイスから離してカーキットをご使用してください。
- 爆発の恐れのある環境（油庫、爆発物倉庫）では、カーキットの電源を切ってください。このような場所においては、警告表示に忠実に従ってください。
- 適切に取り扱うと充電式バッテリは長寿命を保ちます。新品のバッテリまたは長期間未使用のバッテリは、使用開始から 2 〜 3 回でバッテリ容量が減少することがあります。

# 3-5 規格と仕様について

| 製品名 | Bluetooth ハンズフリーカーキット<br>(LBT-HF110C2) | |
|---|---|---|
| Bluetooth 仕様 | V2.0 | |
| 対応プロファイル | ヘッドフォンおよびハンズフリープロファイル | |
| 周波数 | 2.402 GHz ~ 2.480 GHz（ISM 帯） | |
| 送信出力 | Class 2 | |
| 電波到達範囲 | 10m 以内 | |
| 待機時間 | 最大 700 時間（太陽光充電なし） | |
| 連続通話時間 | 最大 12 時間（太陽光充電なし） | |
| 充電時間 | 充電器使用 | 約 2 時間 |
| | 太陽光充電使用 | 約 30 時間 |
| 動作温度 | -20℃ ～ 70℃ | |
| 寸法 / 重量 | 91.3×50.5×13.3mm、重さ 60g | |

- バッテリの耐用回数は、携帯電話およびハンズフリーカーキットの使用状況により異なります。
- 太陽光充電を使用すると、電源アダプタによる追加充電なしに、動作時間（通話時間および待機時間）を連続的に延長することができます。

## 3-6 修理をご依頼いただくときは

- 修理品については、弊社サービス窓口にお送りいただくか、お求めいただいた販売店へご相談ください（故障かどうか判断がつかない場合は、事前に弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。）
- 修理をご依頼される場合は、以下の事項についてできるだけ書面していただき、お買い上げの販売店にお渡しください。

  ①お名前、住所、電話番号

  ②保証書に記載された機種名、シリアル No.

  ③故障の状態、接続形態　（なるべく詳しく）

- 保証期間経過後の修理については、有償修理となります。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品などの問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 修理ご依頼時の確認事項

- お送りいただく際の送料および梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- 保証期間中の場合は、保証書を修理依頼品に添付してください。
- 必ず、「お客様のご連絡先（ご住所および電話番号）」「故障の状態」を書面にて送付してください。
- 保証期間経過後の修理については、お見積もりの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明記のうえ、修理依頼品に添付してください。
- ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）等に入れて、お送りください。
- 弊社 Wed サイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。
- お送りいただく際の送付状控えは、大切に保管願います。

## 3-7 本製品のお問い合わせ先

製品に関するお問い合わせは、弊社テクニカルサポートにお願いいたします。

**ロジテック株式会社 テクニカルサポート**

〒396-0192　長野県伊那市美すず六道原 8268
ロジテック株式会社 テクニカルサポート
TEL：0570-022-022　FAX：0570-033-034
　受付時間　：9：00 ～ 19：00
　営業日　　：月曜日～金曜日
　　　　　　（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

※携帯電話 (FAX)、PHS (TEL、FAX 共)、IP 電話 (TEL、FAX 共)、ひかり (光) 電話 (TEL、FAX 共) はご利用になれません。

**ロジテック株式会社 修理受付窓口**

〒 396-0192　長野県伊那市美すず六道原 8268
ロジテック株式会社 修理サポートセンター（3 番受入窓口）
TEL：0265-74-1423　FAX：0265-74-1403

受付時間　：9：00 ～ 12：00、13：00 ～ 17：00

営業日　　：月曜日～金曜日

（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

※弊社 Web サイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。

※お送りいただいた修理依頼書の控えがお手元に残る方法でお送りいただきますよう、お願いいたします。

# 保証規定

## ■保証内容

製品添付のマニュアル、文書、説明ファイルの記載事項に従った正常なご使用状態で故障した場合には、本保証書に記載された内容に基づき、無償修理をいたします。保証対象は製品の本体部分のみとさせていただき、ソフトウェアなどの添付品は保証の対象とはなりません。なお、本保証書は日本国内においてのみ有効です。

## ■保証適用外事項

保証期間内でも、以下の場合は有償修理となります。

1. 本保証書の提示をいただけない場合
2. 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句が書き換えられた場合
3. お買い上げ後の輸送、移動時の落下や衝撃等、お取り扱いが適当でないために生じた故障、損傷の場合
4. 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、または異常電圧等による故障、損傷の場合
5. 接続されている他の機器に起因して、本製品に故障、損傷が生じた場合
6. 弊社および弊社が指定するサービス機関以外で、修理、調整、改良された場合
7. マニュアル、文書、説明ファイルに記載の使用方法、およびご注意に反するお取り扱いによって生じた故障、損傷の場合

## ■免責事項

本製品の故障または使用によって生じた、お客様の保存データの消失、破損等について、保証するものではありません。直接および間接の損害について、弊社は一切の責任を負いません。